

名稱

〔伊呂波字類抄疊字〕**儉約**

〔書言字考節用集八言辭〕**約**ツマヤカク 儉

〔女大學〕一人の妻と成ては、其家を能保つべし。○中 萬事儉ツマヤカクにして費を作べからず、

解説

〔鶯峯文集十九〕**儉說** 伯元爲武八求レ之

孔子曰、奢則不孫、儉則固、與其不孫也、寧固、二者俱失中、而救時之弊也、奢者人之所欲也、儉者人之所厭也、然儉則保身、奢則失家、故方丈之食、得志不爲也、二簋之薄、與時偕行焉、季氏八佾之舞、獲罪於國、君晏子一裘之蔽、終身於卿相、可不思哉、臧孫姜織蒲、儉則儉矣、不免君子之譏、公儀拔園葵、似不儉而有良相之名、乃知一豐一儉、稱家之有無、而節出入之用、則不不孫、不固、以可不失、中乎、兵家亦有言、苦莫苦於多願、吉莫吉於知足、非抑奢守儉之謂乎、爲武人者、不可不知焉、

〔貝原篤信家訓〕士業勿怠

一平生財用の節なく、侈費す事多ければ、財不足する故に、貧窮を救はずして不仁に流る、廉恥の心も自薄く成て、義理をうしなひ、親戚朋友の交り、簡略にして禮に背き、人の財物を借ても償ふ事ならずして信をうしなひ、軍用に乏しくては不忠となる、財を用る事宜にかなはざれば、財不足して憂きこと如斯多し、常に身に奉ずる事儉約にして、財を用ひ過ぎず、奢を抑へ費を省き、入る事を量りて、出す事をなし、餘財を存して困窮を救ひ、不虞に備へ軍用を助べし、古人三年耕作して一年の食あり、其の祿を四つに分て三つを以て一を殘す、是古財を制する法な